

山梨県立高校の授業で「明るい未来へ TRY!」を 活用した授業を実施しました！

～損害保険の基本と自転車・自動車事故に備える損害保険について学ぶ～

日本損害保険協会 関東支部 山梨損保会（会長：梶山 治哉・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 山梨支店長）では、1月22日に山梨県立甲府第一高等学校で、同校公民科の三輪貴代教諭が当協会の作成した高校生向け副教材「明るい未来へ TRY!」を活用した授業（授業時間：55分間）を実施され、関東支部職員がサポートしました。

当日は「現代社会」の指導領域で、高校3年生の3クラス49名を対象に、高校生向け副教材「明るい未来へ TRY!」を使用して、「社会保険と民間保険の違い～身の回りのリスクへの対策～」と題した授業およびグループ学習を行いました。

各回とも、初めに導入として、三輪教諭から、社会保険と民間保険の違いや保険の役割などについて説明がなされ、続いて貯蓄と保険の違いについて、動画教材を併用した説明が行われました。

次に展開として、クラスごとに希望を聞き、「明るい未来へ TRY!」にある「やってみたいこと」をそれぞれ選び（1クラスは「週末はサイクリングを楽しみたい!」、2クラスは「友だちとドライブに行きたい!」を選択）、それに伴うリスクと対策について意見交換したうえでグループ発表を行い、その後、自転車や自動車の運転リスクに備える保険について、動画教材を併用した説明が行われました。

そして最後に、三輪教諭から、自転車のリスクに関しては、相手をケガさせたりした場合に備えて賠償責任保険に加入しておく必要があることや、自動車のリスクに関しては、高額賠償判決事例を踏まえると、自動車保険では、対人賠償も対物賠償も無制限としておくことが望ましいことなどが伝えられました。

ワークシートにおいて、生徒からは、「手軽な自転車でも多くのリスクがあることに気付いた。」「自賠責保険には限度額があるので、自動車保険で十分に備えておく必要があることを学んだ。」「保険の種類や役割を知ることが出来たので将来保険に加入する際は、今回学んだことを活かして加入する保険を選ぼうと思った。」などといった感想が出され、本授業を通じて、将来、社会生活を送る上で遭遇するリスクに応じて保険を活用していくことが重要であると認識してもらい、リスク教育を推進することができました。

当支部では、このような授業実践、講師派遣等を通じて、今後も高校生の損害保険リテラシーの向上に努めてまいります。



生徒に説明する三輪貴代教諭



グループディスカッションの様子

<お問い合わせ先> 関東支部・奥 英昭、片岡 信彦 (TEL:03-3255-1450)

私たちが選ぶ地球の未来・・・限りある資源を大切に使いましょう！